

奈良県の経済動向分析  
2017年9月

2017年9月22日

有限会社オフィス・ビー

## [1] 分析の概観

### 【消費（P. 2～5）】

#### ◆奈良県の百貨店・スーパー販売額

- ・奈良県内の百貨店・スーパー販売額は、2017年4月に前年同月を上回ったが、5～7月の前年同月比は再びマイナスになった。
- ・前回に引き続き、奈良県内の百貨店・スーパー販売額の前年同月比は浮き沈みの繰り返しのまま続いている。ただし、浮き沈みの幅は小さく、小康状態に変わってきたとも考えられる。
- ・8月以降の前年同月比がプラスに転じるのか、マイナスを続けるか、また増減の幅はどのように変化するのか、注目する必要がある。
- ・2017年5～7月の間、合計の商品販売額の前年同月比がマイナスになっており、全体に減少傾向にある。
- ・「身の回り品」の販売額は5月・6月に前年同月を上回ったが、7月にはマイナスに転じている。
- ・「飲食料品」は、5月だけ前年同月を上回っており、「家具」は7月だけが前年同月を上回った。
- ・その他は、5～7月の間、全ての商品が前年同月を下回っている。
- ・これまで消費を支えてきた「飲食料品」についても、6月以降の販売額は減少傾向を示している。今後の動向を、更に注目する必要がある。

#### ◆奈良県の新車販売台数

- ・2017年6月まで好調であった「乗用車」の販売台数であるが、7月の前年同月比の伸びは小さくなった。
- ・特に、「普通車・乗用車」の販売台数は増減の幅が大きくなっている。
- ・乗用車販売台数の前年同月比は再び持ち直すのか、それともいよいよマイナスに転じるのか、今後の動きが注目される。

#### ◆奈良市の消費者物価指数

- ・「奈良市の消費者物価指数」の前年同月比は、2017年4月までと同様にプラスの状態を続けている。
- ・7月に入り、前年同月比がマイナスを示している区分が増えた。特に、「生鮮食品」と「家具・家事用品」の下げ幅が大きくなっており、注意が必要である。

### 【来訪（P. 6）】

- ・2016年11月以降、プラスの状態を続けてきた「延べ宿泊者数の前年同月比」は、その後も前年同月を上回る状態が続いてきた。ただし、2017年6月は、微増にとどまった。
- ・「外国人延べ宿泊者数の前年同月比」は、2017年4月・5月はプラスであったが、6月に大幅なマイナスに転じた。
- ・インバウンド需要について、減少幅の拡大が懸念される。

#### 【生産（P. 7）】

- ・奈良県の鉱工業生産指数の前年同月比は、2016年12月以降、マイナス値を続けている。
- ・2017年7月は、特に減少率が大きくなっており、今後の変化に注意する必要がある。
- ・「電気機械工業」の前年同月比が、引き続き大きなマイナス値を示している。国内生産減少の影響が大きいと見受けられる。

#### 【民間投資（P. 8）】

- ・2017年1～3月にやや大きな浮き沈みを見せていた「住宅着工戸数」の前年同月比であるが、4～6月は小さな浮き沈みを繰り返しているが、ほぼ前年並みの状況である。
- ・2017年4～6月の間、「分譲」の住宅着工件数に関しては、前年同月比がずっとマイナスの状態にある。
- ・また、「貸家」の4月・5月の前年同月比はプラスであったが、6月にマイナスに転じた。「持ち家」は4月がプラスであったが、5月・6月とマイナスになっている。
- ・2017年6月は、全ての区分の前年同月比がマイナスになっており、民間投資の冷え込みにつながるのか、今後の動きに注意を払う必要がある。

#### 【公共投資（P. 9）】

- ・2017年4～6月の国関連の公共事業の前年同月比は、プラスの状態が続いた。
- ・奈良県内の公共事業契約金額の前年同月比に関して、月ごとの浮き沈みは見られるが、通して言うと、おおよそ前年並みの投資が行われていた。

#### 【雇用（P. 10）】

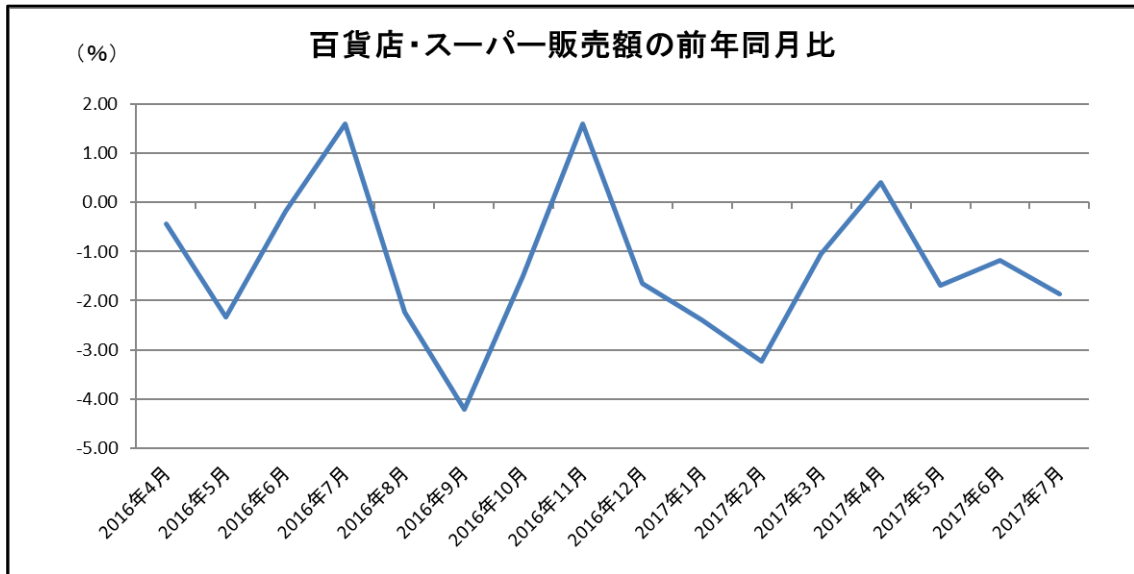
- ・新規求人倍率は、2017年6月に若干の低下が見られたが、7月に大きく盛り返した。
- ・有効求人倍率は、5月をピークにして、6月は大きく下がったが、7月に再び上昇した。
- ・趨勢として、前回同様に奈良県の雇用情勢は改善が続いている。
- ・2017年5～7月の正社員有効求人倍率は継続して伸びており、最新の7月のデータは、前年を0.1ポイント上回っている。正社員の求人数の増加が、好調の要因になっている。

## [2] 具体的な分析内容

### 1. 消費

#### (1) 奈良県の百貨店・スーパー販売額

##### ① 前年同月比の推移・全店ベース（2017年7月は速報値）



出典：近畿経済産業局 百貨店・スーパー販売状況

#### [今回のデータの考察]

- ・奈良県内の百貨店・スーパー販売額は、2017年4月に前年同月を上回ったが、5～7月の前年同月比は再びマイナスになった。

#### [前回の考察との比較]

- ・前回に引き続き、奈良県内の百貨店・スーパー販売額の前年同月比は浮き沈みの繰り返しを続けている。ただし、浮き沈みの幅は小さく、小康状態に変わってきたとも考えられる。
- ・8月以降の前年同月比がプラスに転じるのか、マイナスを続けるか、また増減の幅はどのように変化するのか、注目する必要がある。



②直近の状況（2017年4月は速報値）

単位(百万円、%)

対 象	2017年5月		2017年6月		2017年7月・速報値		
	販売額	前年 同月比	販売額	前年 同月比	販売額	前年 同月比	
合 計	18,218	▲ 1.7	18,247	▲ 1.2	19,399	▲ 1.9	
商	衣料品計	2,217	▲ 6.4	2,149	▲ 1.3	2,367	▲ 4.3
	紳士服・洋品	508	▲ 7.7	520	▲ 5.0	512	▲ 3.9
	婦人・子供服・洋品	1,466	▲ 5.7	1,359	▲ 0.2	1,561	▲ 5.0
	その他の衣料品	243	▲ 8.1	269	0.7	294	▲ 0.9
品 別	身の回り品	633	0.1	580	5.4	699	▲ 1.8
	飲食料品	11,946	0.4	12,127	▲ 0.5	12,596	▲ 0.9
	家具・家電・家庭用品計	657	▲ 4.9	658	▲ 3.6	749	▲ 2.6
	家具	82	▲ 6.9	76	▲ 9.0	105	13.2
	家庭用電気機械器具	109	▲ 12.5	119	▲ 2.5	147	▲ 6.1
	家庭用品	466	▲ 2.6	462	▲ 2.9	497	▲ 4.3
	その他の商品	2,673	▲ 5.8	2,640	▲ 4.6	2,868	▲ 3.5
	食堂・喫茶	93	▲ 10.3	93	▲ 4.5	119	▲ 10.1

商品名	内 容 例 示
紳士服・洋品	紳士服、下着類、ワイシャツ、ネクタイ、靴下など
婦人・子供服・洋品	婦人服、子供服、下着類、ブラウス、靴下など
その他の衣料品	呉服、反物、寝装具類、和装小物、タオルなど
身の回り品	靴、履物、和・洋傘類、かばん、トランク、ハンドバッグ、裁縫用品、装身具(宝石、貴金属製を除く)など
飲食料品	飲料、和・洋酒、調味料、食肉、鮮魚、乾物、野菜、果実、菓子、パン、乳製品など
家 具	和・洋家具、室内調度品、神仏具、じゅうたん、カーテン、ござなど
家庭用電気機械器具	テレビ、ラジオ、ステレオ、DVD、エアコン、電気洗濯機、電気冷蔵庫、照明器具、電気こたつ、電気ストーブ、パソコン、電話機、携帯電話機など
家庭用品	陶磁器、ガラス器、漆器、金物、荒物、ガス器具、石油ストーブ、水道器具、ミシン、編機など
その他の商品	医薬品、化粧品、洗剤、書籍、文房具、事務用品、貴金属、宝石、美術工芸品、時計、眼鏡、カメラ、ビデオテープ、CDソフト、DVDソフト、スポーツ用品、娯楽用品、がん具、電子応用がん具、ゲームソフト、楽器、園芸用品、大工用品、ペット関連商品、たばこ、喫煙具、燃料、自転車、自動車、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、紙おむつなど
食堂・喫茶	食堂、喫茶室、すし屋などその場で顧客に飲食させるもの

出典：近畿経済産業局 百貨店・スーパー販売状況

[今回のデータの考察]

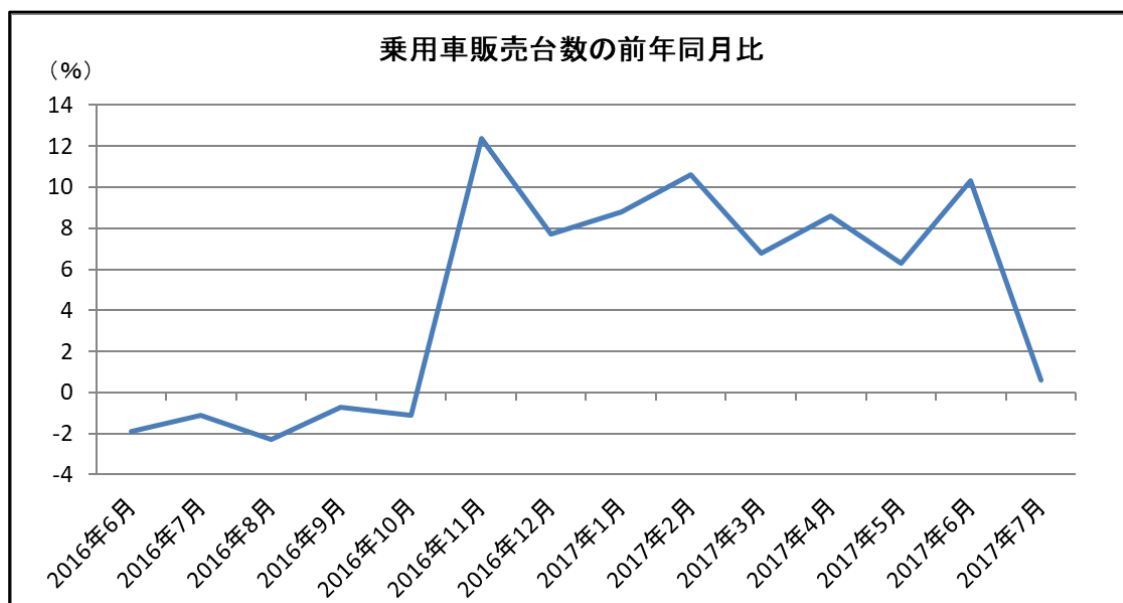
- ・2017年5～7月の間、合計の商品販売額の前年同月比がマイナスになっており、全体に減少傾向にある。
- ・「身の回り品」の販売額は5月・6月に前年同月を上回ったが、7月にはマイナスに転じている。
- ・「飲食料品」は、5月だけ前年同月を上回っており、「家具」は7月だけが前年同月を上回った。
- ・その他は、5～7月の間、全ての商品が前年同月を下回っている。

[前回の考察との比較]

- ・これまで消費を支えてきた「飲食料品」についても、6月以降の販売額は減少傾向を示している。今後の動向を、更に注目する必要がある。

## (2) 奈良県の乗用車販売台数

### ① 前年同月比の推移



出典：奈良運輸支局・奈良軽自動車協会

### ② 直近の状況

単位(台、%)

対 象	2017年5月		2017年6月		2017年7月	
	販売台数	前年同月比	販売台数	前年同月比	販売台数	前年同月比
合 計	3239	6.3	4067	10.3	3593	0.6
普通車・小型車	2099	▲ 3.5	2730	9.4	2354	▲ 5.4
軽自動車	1140	30.9	1337	12.3	1239	14.3

出典：奈良運輸支局・奈良軽自動車協会

#### [今回のデータの考察]

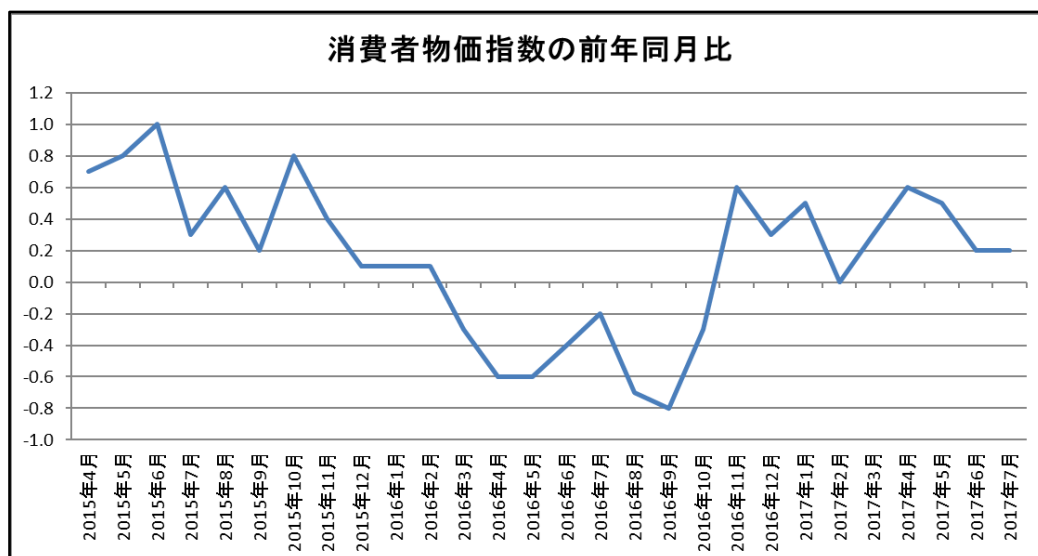
- ・2017年6月まで好調であった「乗用車」の販売台数であるが、7月の前年同月比の伸びは小さくなった。
- ・特に、「普通車・乗用車」の販売台数は増減の幅が大きくなっている。

#### [前回の考察との比較]

- ・乗用車販売台数の前年同月比は再び持ち直すのか、それともいよいよマイナスに転じるのか、今後の動きが注目される。

### (3) 奈良市の消費者物価指数

#### ①前年同月比の推移（総合指標）



出典：奈良県

#### ②直近の状況（総合指標）

単位(2015年=100)

区分	平成28年	平成29年	平成29年	前月比 (%)	寄与度	前年同月比
	7月	6月	7月			(%)
総合	99.7	100.0	99.8	▲ 0.1	▲ 0.1	0.2
除く生鮮	99.6	100.0	100.0	0.0	0.0	0.4
除く生鮮・エネルギー	100.2	100.2	100.3	0.1	0.1	0.1
生鮮食品	101.8	99.8	96.4	▲ 3.5	▲ 0.1	▲ 5.3
食料	100.8	101.7	101.2	▲ 0.4	▲ 0.1	0.4
住居	99.4	99.2	99.3	0.1	0.0	▲ 0.1
光熱・水道	93.5	97.3	97.3	0.0	0.0	4.1
家具・家事用品	96.6	92.0	91.3	▲ 0.7	▲ 0.0	▲ 5.5
被服及び履物	99.6	101.7	99.0	▲ 2.6	▲ 0.1	▲ 0.6
保健医療	101.6	102.0	102.2	0.2	0.0	0.6
交通・通信	98.8	98.6	98.7	0.1	0.0	▲ 0.1
教育	102.9	101.7	101.7	0.0	0.0	▲ 1.2
教養娯楽	101.5	101.8	102.2	0.4	0.1	0.7
諸雑費	100.6	98.8	99.7	0.9	0.1	▲ 0.9

出典：奈良県

#### [今回のデータの考察]

・「奈良市の消費者物価指数」の前年同月比は、2017年4月までと同様にプラスの状態を続けている。

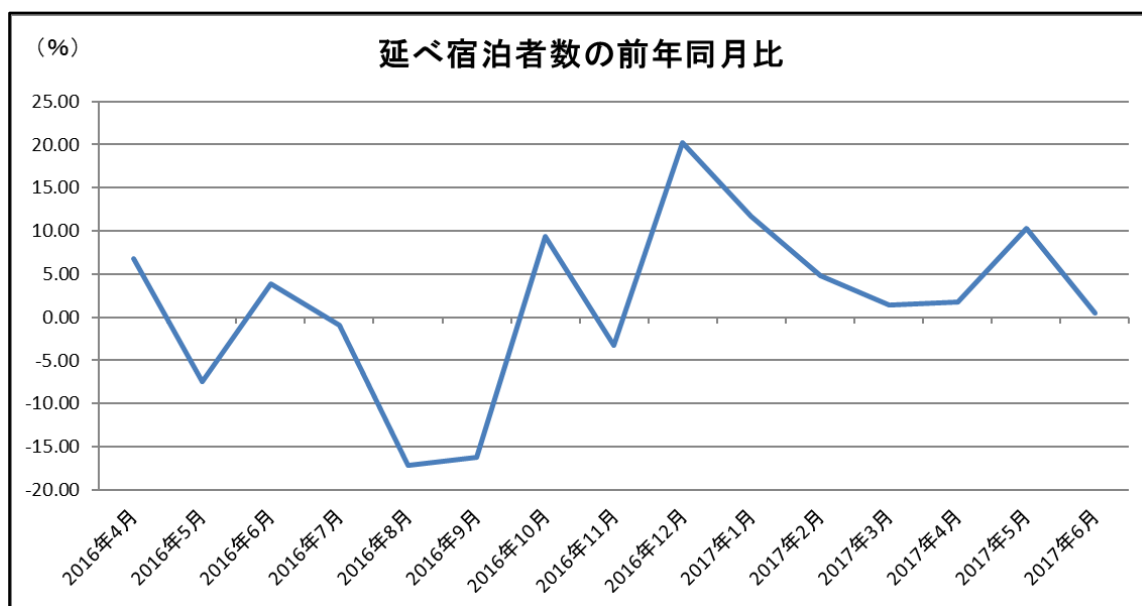
#### [前回の考察との比較]

・7月に入り、前年同月比がマイナスを示している区分が増えた。特に、「生鮮食品」と「家具・家事用品」の下げ幅が大きくなっており、注意が必要である。

## 2. 来訪

### ◆奈良県内の宿泊者数

#### ①延べ宿泊者数の前年同月比の推移

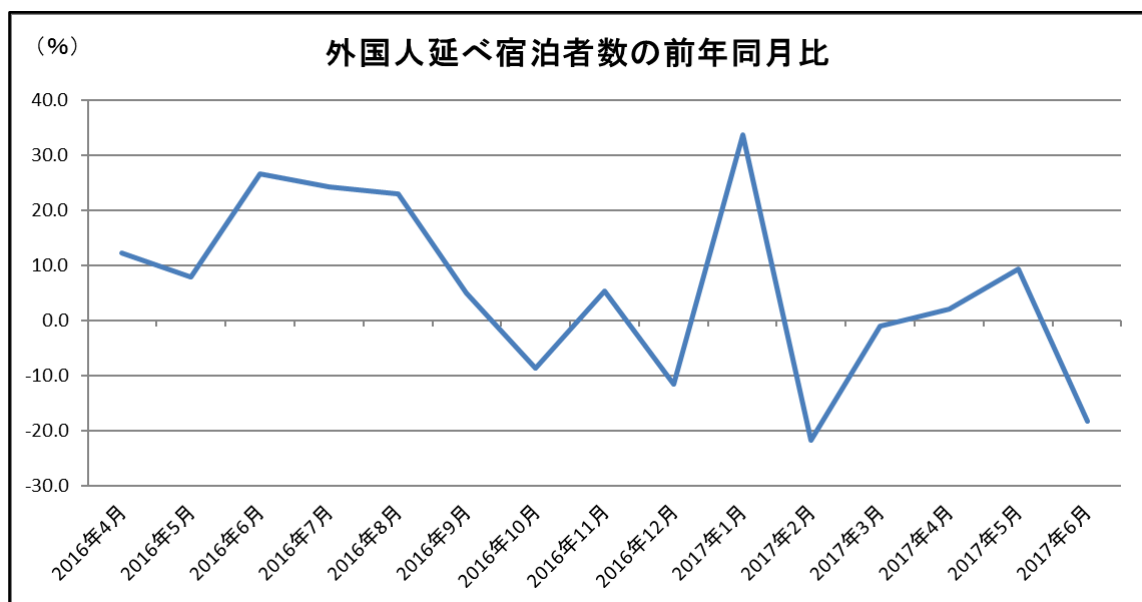


出典: 国土交通省 宿泊旅行統計調査

#### [今回のデータの考察]

- ・2016年11月以降、プラスの状態を続けてきた「延べ宿泊者数の前年同月比」は、その後も前年同月を上回る状態が続いてきた。ただし、2017年6月は、微増にとどまった。

#### ②外国人延べ宿泊者数の前年同月比の推移



出典: 国土交通省 宿泊旅行統計調査

#### [今回のデータの考察]

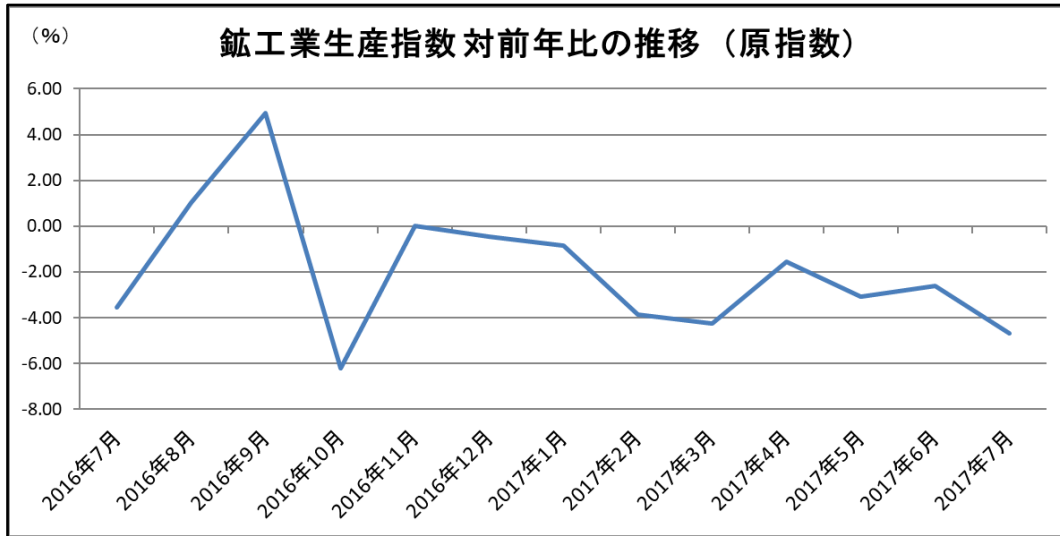
- ・「外国人延べ宿泊者数の前年同月比」は、2017年4月・5月はプラスであったが、6月に大幅なマイナスに転じた。
- ・インバウンド需要について、減少幅の拡大が懸念される。



### 3. 生産

#### ◆奈良県の鉱工業生産指数・原指数

##### ①前年同月比の推移



出典：奈良県

##### [今回のデータの考察]

- ・奈良県の鉱工業生産指数の前年同月比は、2016年12月以降、マイナス値を続けている。
- ・2017年7月は、特に減少率が大きくなっており、今後の変化に注意する必要がある。

##### ②直近の状況

単位(2010年=100、%)

対象	2017年5月		2017年6月		2017年7月	
	指数	前年同月比	指数	前年同月比	指数	前年同月比
合計	82.2	▲ 3.07	89.3	▲ 2.62	85.5	▲ 4.68
鉄鋼業	88.2	7.17	102.5	14.27	96.0	11.76
非鉄金属工業	73.4	7.15	89.4	2.29	89.4	6.94
金属製品工業	98.3	14.70	102.0	▲ 4.23	87.4	▲ 4.38
一般機械工業	97.2	6.23	108.3	0.46	94.5	▲ 3.87
電気機械工業	5.5	▲ 84.06	5.7	▲ 83.38	5.9	▲ 84.95
輸送機械工業	93.8	4.80	114.2	6.73	109.8	1.48
窯業・土石製品工業	98.0	32.79	98.4	18.98	94.8	▲ 2.17
化学工業	113.5	▲ 4.86	124.1	▲ 8.21	115.7	▲ 1.45
プラスチック製品工業	77.9	4.85	89.3	6.31	85.6	▲ 3.28
パルプ・紙・紙加工品工業	120.1	9.38	133.3	7.50	124.5	2.72
繊維工業	72.3	▲ 8.83	79.3	▲ 5.14	79.6	▲ 3.28
食料品・たばこ工業	94.7	▲ 4.15	93.8	0.97	96.6	11.29
その他工業	101.9	▲ 1.36	105.8	6.98	109.7	0.55

出典：奈良県

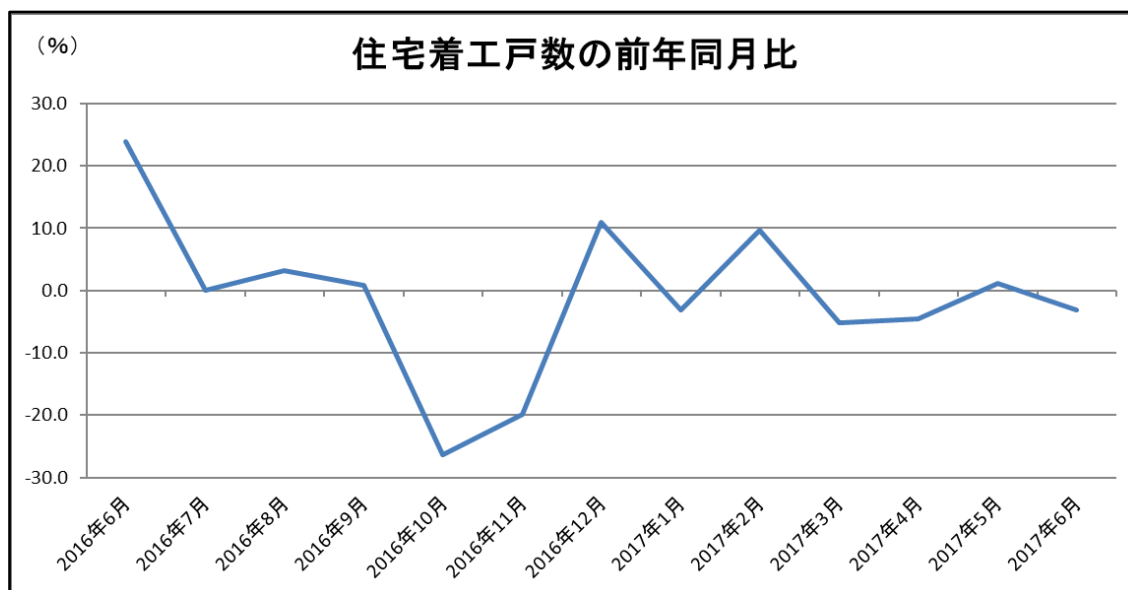
##### [前回の考察との比較]

- ・「電気機械工業」の前年同月比が、引き続き大きなマイナス値を示している。国内生産減少の影響が大きいと見受けられる。

## 4. 民間投資

### ◆奈良県の住宅着工戸数

#### ①前年同月比の推移



出典：国土交通省 着工新設住宅戸数

#### [前回の考察との比較]

- ・2017年1～3月にやや大きな浮き沈みを見せていた「住宅着工戸数」の前年同月比であるが、4～6月は小さな浮き沈みを繰り返しているが、ほぼ前年並みの状況である。

#### ②直近の状況

単位(戸、%)

対 象	2017年4月		2017年5月		2017年6月	
	着工戸数	前年同月比	着工戸数	前年同月比	着工戸数	前年同月比
合 計	652	▲ 4.5	530	1.1	597	▲ 3.1
持ち家	241	15.3	222	▲ 1.8	247	▲ 8.2
貸 家	258	31.6	156	10.6	163	▲ 14.2
分 譲	153	▲ 44.6	152	▲ 2.6	139	▲ 11.5

出典：国土交通省 着工新設住宅戸数

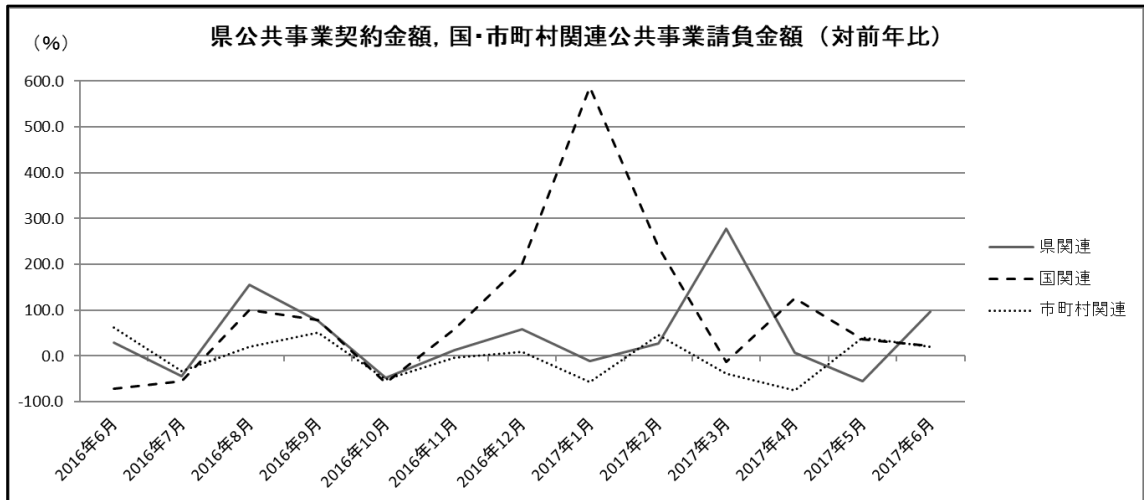
#### [今回のデータの考察]

- ・2017年4～6月の間、「分譲」の住宅着工件数に関しては、前年同月比がずっとマイナスの状態にある。
- ・また、「貸家」の4月・5月の前年同月比はプラスであったが、6月にマイナスに転じた。「持ち家」は4月がプラスであったが、5月・6月とマイナスになっている。
- ・2017年6月は、全ての区分の前年同月比がマイナスになっており、民間投資の冷え込みにつながるのか、今後の動きに注意を払う必要がある。

## 5. 公共投資

### ◆奈良県の公共事業請負金額

#### ①前年同月比の推移



出典:奈良県

#### ②直近の状況

単位(百万円、%)

対 象	2017年4月		2017年5月		2017年6月	
	金額	前年同月比	金額	前年同月比	金額	前年同月比
県公共事業等事業 施行契約済額	22,880	7.7	4,021	▲ 54.6	5,201	96.6
国関連 公共工事請負金額	1,269	125.5	3,431	36.1	1,876	22.6
市町村関連 公共工事請負金額	2,301	▲ 74.9	1,271	40.2	7,635	19.3

出典:奈良県

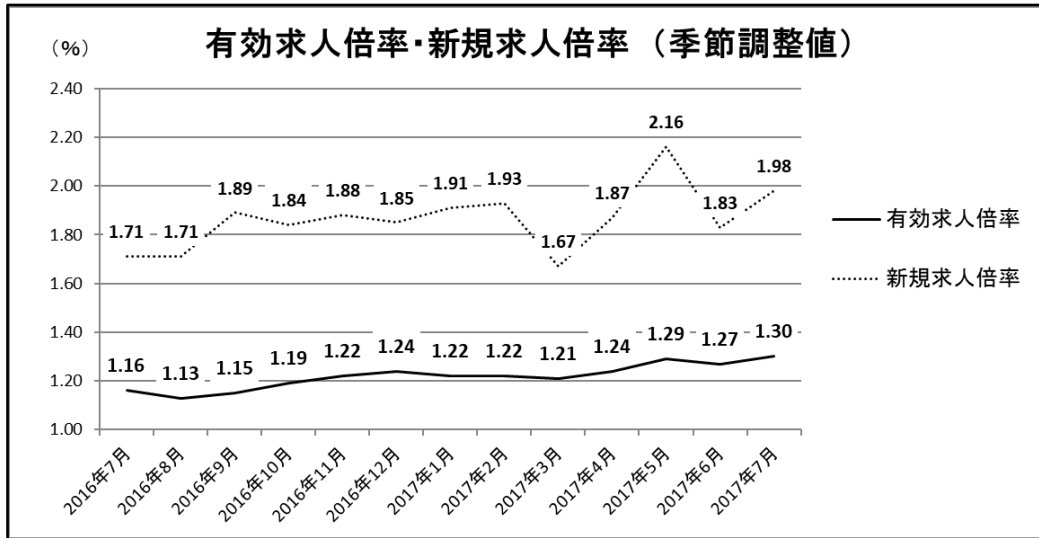
#### [今回のデータの考察]

- ・2017年4～6月の国関連の公共事業の前年同月比は、プラスの状態が続いた。
- ・奈良県内の公共事業契約金額の前年同月比に関して、月ごとの浮き沈みは見られるが、通して言うと、おおよそ前年並みの投資が行われていた。

## 6. 雇用

### ◆奈良県の求人倍率

#### ①求人倍率・季節調整値の推移

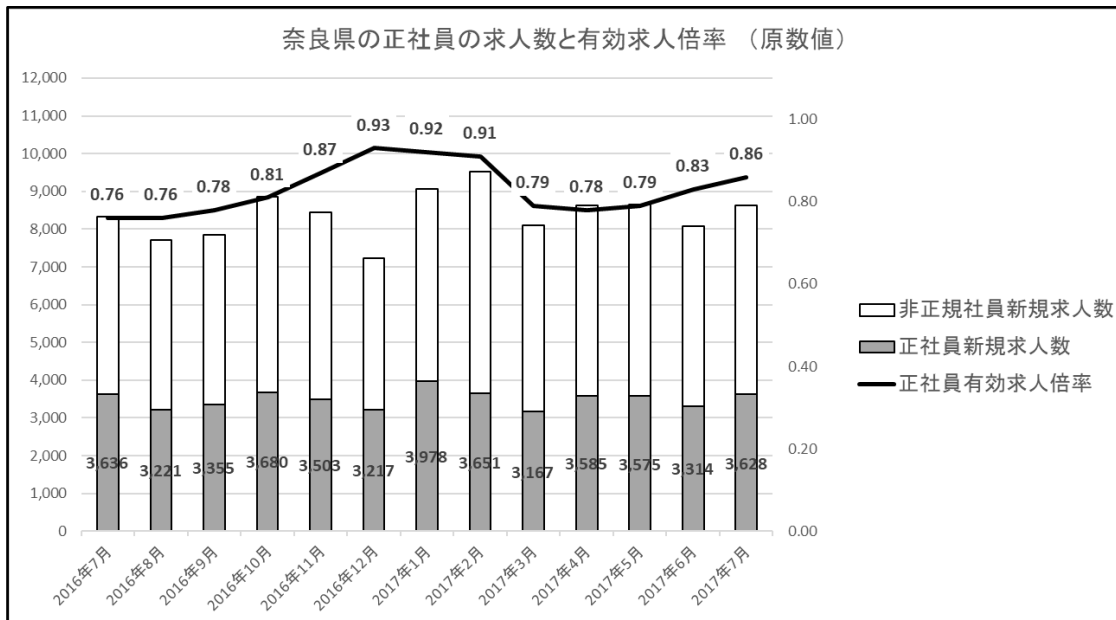


出典：奈良労働局

#### [今回のデータの考察]

- ・新規求人倍率は、2017年6月に若干の低下が見られたが、7月に大きく盛り返した。
- ・有効求人倍率は、5月をピークにして、6月は大きく下がったが、7月に再び上昇した。
- ・趨勢として、前回同様に奈良県の雇用情勢は改善が続いている。

#### ②正社員の有効求人倍率



出典：奈良労働局

#### [今回のデータの考察]

- ・2017年5～7月の正社員有効求人倍率は継続して伸びており、最新の7月のデータは、前年を0.1ポイント上回っている。正社員の求人数の増加が、好調の要因になっている。

以上